



## 歩こう

記録的な猛暑の余韻で、太陽の勢いが止まらなかった9月。天の恵みで小雨まじりの曇り空に助けられ、今回は「ひるがのウォーキング体験版」行ってきました。山登りではないから、と甘くみてスタートした6.8km。けっこうな歩き応えのある冒険でした。



パワーもらえそう。ブナの森の澄んだ息吹。

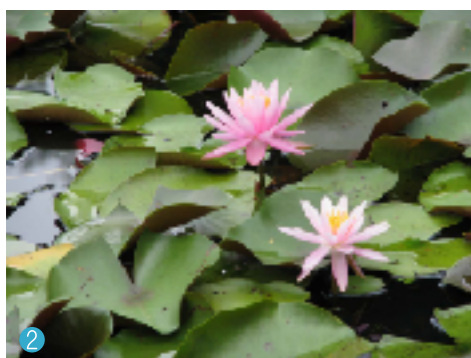
## 「歩くと出会えるひるがの」があるから。

ひるがの高原スキー場に集合し、まずは南に向かってふらふらと歩き出した一行。ふだん、あまり(全然?)歩かないというメンバーも多くて、路上のアリの行列さえ新鮮...て、そんなレベルじゃ困ります。いざ、ひるがのの天然区域へ。けれど、スタートしてしばらくは、おなじみのひるがのタウン内での散策で、すれ違うご近所さんに「あれ、今日は何やったかな?」と声をかけられつつ湿原植物園へ。物産館でスポーツドリンクをごちそうになったりして、すでに休憩が

うれしい。めったに入ることもない植物園では花盛りのスイレンがかわいくて、しばし撮影タイム。分水嶺公園を通り、別荘地の入り口から脇へ入って、しばらく林の中の細道を行くと、行く先がふわあっと明るくなってきて、そこは美しいブナの森。「ここ、なんかパワーもらえそう。他のとこと全然違う。」って、名古屋からきているバイトちゃんと言う。ふだんから自然に囲まれて生活してるけど、もっともっと深くて大きい自然の懷に、ぱふっと抱

かれたようなカンジ。優しい緑の間からのぞくす曇りの空。「こんなとこ初めて来た。」と、背の高い木を仰ぎ見ながら進む。その後、野いちごを道端に見つけたりして、杉の間の一本道を通り、別荘地に出た。それは豪華な別荘にため息をつきながら、ふと見るとパーツと開けた牧草畑。その向こうにスタート地点のスキー場が見える。ちょっと一息、を変更してアウルでかなり早めのランチ。歩くとおなかも減るのです。

元気を取り戻して、みたがい川沿いの砂利道を通ってやっとゴールのスキー場に到着。「初めて通る道ばかりだった」という声もあって、それぞれに新鮮な体験だったようです。起伏の少ないのんびりコースで、澄んだ空気をたっぷり吸って。「心地よい疲労感。」と思っていたのはこの時だけでした。その日、帰ってほっとしたとたん、どどーっと全身に疲れが...。ううっ、ふだんからもう少し運動しとかなないとね。そのためにも、歩いていいですよ。



## 行きましたか? コキアパーク

ウォーキングの最後にコキアを見てきました。ころんとした姿がかわいくて癒されます。秋の営業になって、また行ってみると、みごとに紅葉していました。紅葉、という赤のイメージより、もっと夢のようなプリティピンクでしたよ。今年の営業は終了です。また来年をお楽しみに。



中腹からの景色。眺めも良くて気持ちいい♪



コキアを利用したお花畑。とても素敵です。



帽子をかぶせてはいチーズ!! 写真写りがいいのはだれ?

10月には... (10月12日撮影)

